

# 大田高校 人権だより

## <1学期の人権教育活動報告>

コロナウイルス感染症の急速な広がりにより、入学直後から約2ヶ月休校せざるを得なかった昨年の私達。今年度は予定どおり、HR活動が行われました。各学年の様子をお伝えします。

### 1年生人権教育HR活動(アサーティブな対応を学ぶ)

新しい人間関係づくりに悩む1年生に対して、日常生活でよくある場面を想定した上で、「どのように対応すればどちらも気分良く気持ちを伝えあえるだろうか」をテーマに活動しました。相手の立場を思いやりながらも自分の主張を伝える・・・大人の私達でも難しいことです。以下は生徒の感想文の抜粋です。

\*\*\*\*\*

今日は、自分が明らかに悪くないことについて相手の意見を尊重しながら自分の意見を主張する「アサーティブ」というやりかたを学びました。大事な場面で感情にまかせた言い方をしてしまうと相手との関係も悪くなると思います。だからこそ、アサーティブは人間関係を築く上でとても良い技術ではないかと思いました。自分の意見を主張する時に、相手を大切にしながら主張するのは「人」を大切にすることでもあると思います。人を大切にできると自分も大切にできるから、自分も実践したいと思います。

\*\*\*\*\*

自分の性格上、こういった場面でアサーティブな受け答えをするのはものすごく難しいけれど、皆で考えたり意見を言い合ったりすることができて、少しだけアサーティブな対応ができたかなと思います。人によってアサーティブな受け答えは全然違っていたので、聞いていて面白かったし、「こんな言い方もできるんだ」と新たな発見ができてよかったです。

\*\*\*\*\*

(相手側の気持ちを考えて) 今回の2つの例でもそうだったけれど、どちらも相手のことを考えずに行動してしまっていると感じました。もう少し考えて行動すれば、このような対立は起きないので、気をつけたいと思いました。

## 教職員研修でも取り上げました!

年度初めの教職員研修でも、このテーマを取り上げて具体的な対応を考えました。アサーティブな対応の基本D(描写)、E(説明)、S(提案)、C(選択)の流れを意識して会話を組み立て、ポスターセッション形式で共有しました。この手法により、相手の状況や「目に見えないところを見ようとする」姿勢が養われ、生徒理解(周囲との人間関係づくり)に役立つのではないかと思います。



(上段) 生徒達の学習の様子  
典型的な対応例を見て、会話を再構築しました



(下段) 教職員研修の様子  
付箋紙を使って、会話を組み立てました

## 人権意識調査アンケートについて

大田高校では、1年生と3年生の時に、人権意識に関する同じ内容のアンケートをして、3年間の変容を見ています。今年の1年生の特徴は、「友達を大切にしている/されている」「先生から大切にされている」のポイントがとても高いことです。「自尊感情」は、心の成長に欠かせない要素です。自分を大切にできる人が、他人も大切にできる人です。この3年間、きっと素晴らしい高校生活になることでしょう。

### 3年生人権教育HR活動(就職差別に学ぶ)

3年生のこの時期は、就職差別の事例と履歴書用紙（以前は「社用紙」と言っていました）の変遷を学ぶことにより、就職に際して私達の人権を守り、差別を許さないためにどのような働きかけができるかについて学習しました。

以下は生徒の感想文の抜粋です。

\*\*\*\*\*

以前は、社用紙に自分が知られたくないことを書いたり、面接で言いたくないことを聞かれていたと思うと、心が痛くなりました。先人の方々がたくさん改善してくれたおかげで本当の自分が言える雰囲気になり、差別的なことがなくなってよかったです。面接では怖がらずに、「学校の指導によりお答えできません」と答える勇気を持ちたいです。

\*\*\*\*\*

私はいままで就職差別についてあまり詳しく知りませんでした。今日の授業で実際にあった就職差別について知り、とても驚くと同時に腹が立ちました。財産や家族に関する事で合否が決まるのはとても理不尽だと思いました。

\*\*\*\*\*

履歴書に不要な項目がなくなったのは、今までの先輩達のおかげだとわかった。もし、嫌なことを聞かれたら、報告して後輩達を守りたいと思う。就職差別をしない、させないように心がけたい。

\*\*\*\*\*

僕は、面接で関係ないことを聞かれても、コミュニケーション力を見られていると思っていたので自信を持って答えるものだと考えていました。でも今日の授業で、そのような質問への正しい返答を学べてとても有意義な時間になりました。そして、きちんと対応することで、自分だけでなく後輩達も守ることができると学びました。

\*\*\*\*\*

昔の採用選考応募書類には、本人の資質・能力に関係ないことまで判断されていたと考えると、ひどいなと思います。面接で不適切な質問をされた時、それが不適切であることに気づくことも難しいと思いますが、気づいたらきちんと「それはおかしい」と言いたいです。

\*\*\*\*\*

不適切な質問をされた場合には、「答えられない」という意志をはっきり伝えられるようになりたいと思いました。また、不適切な質問をしない、公正な学校・企業で学んだり働いたりしたいと思いました。

### 「就職差別につながるおそれのある14事項」について

#### 就職差別につながるおそれのある14事項

下記に示す「14事項」は、本人の能力・適性に関係のない事項の把握であり、就職差別につながります。

---

次の①～⑭の事項を、応募用紙（エントリーシートやアンケート等も含む）に記入させる・面接時に尋ねる・作文の題材とするなどによって把握することや⑬～⑭を実施することは、就職差別につながります（下記の14事項に限られるわけではありません）。

**本人に責任のない事項の把握**

- ①「本籍・出生地」に関する事
- ②「家族」に関する事（職業・経歴・健康・病歴・地位・学歴・収入・資産など）
- ③「休学歴」に関する事（休学期間・理由・休学の種類・返学の経緯など）

「事業主のみなさんへ 公正な採用選考のために」より  
(作成：島根県商工労働部ほか)

この資料は、実際に事業所が採用選考に際して差別をしないよう、島根県が定めた項目に従ってまとめたものです。私達受験者だけでなく、事業所も積極的に差別をなくす取り組みを進めています。



HR活動の様子

#### 2学期人権教育関連の事業

- 10月28日（木）2年生人権教育HR活動①  
3年生人権教育講演会
- 11月4日（木）1年生人権教育HR活動②

発行 令和3年7月27日  
大田高校（人権・同和教育部）